

# 病児保育室 かんがる一む

## 通信

「病児保育室かんがる～む」は、かわなこどもクリニック併設の横浜市委託の病児保育室です。熱が高い時や具合の悪い時、インフルエンザなどの感染症の場合も、保育士、看護師が責任を持ってお預かりいたします。横浜市外の方もご利用いただけます。

### <コロナウイルス感染拡大防止の対応>

新型コロナ感染症防止対策 引き続き対応します

◎他院にて受診し4号様式をもらった方は、状況に応じて当クリニックにて、コロナ抗原検査を実施させていただきます。(他院受診時にコロナ抗原検査をされた方は、電話にてお知らせください。自宅での抗原検査は適用となりません)

◎同居の家族にコロナ陽性者、またはコロナ濃厚接触者がいた場合は、ご利用できません。

◎通園、通学中の保育園・幼稚園、小学校がコロナ感染のため、休園・休校になっている間はご利用できません

かんがる一むは病名、症状によって、複数名同室のお預かりになります。ご理解のほどよろしくお願い致します。

※お迎えは17時30までとなります。子どもたちの体調を考慮して、時間を設定しております。できる限り時間厳守でお願いします。

※継続利用は3日です。4日目以降は空きがありましたら利用できます。

### Mobile Site



左のQRコードを読み込んで頂くと、携帯サイトがご覧頂けます。



問い合わせは…

病児保育室 かんがる一む  
☎ 045-374-5761  
FAX 045-374-5762  
<http://www.kawana-kids-clinic.com>

今年は例年よりも暑くなるのが早く、鼻水、お熱と、夏風邪でかんがる一むを利用が増えています。他にヒトメタニューモウィルス感染症も大流行です。アデノウィルス、手足口病、ヘルパンギーナも少しずつ聞かれてきています。そしてコロナも子どもたちの中でまたも増えてきているようです。どんな病気でも落ち着いて、目の前にいる子どもの様子をよく見ていきたいですね。体調管理を十分に行い、楽しい夏を過ごしてください。お父さん、お母さんも暑い夏、体調にきをつけてくださいね!

先日千葉で開催された「全国病児保育研究会」に参加しました。

いくつか講習を聞いた中で、お家の皆さんとぜひ共有したいことをご紹介します。

東京女子医科大学 八千代医療センター

小児集中治療科 木村 翔先生

「食べ物なのに食べちゃダメ」

子どもが食べ物を食べて誤嚥する事故は、多くあり、日頃私たちが普通に口にしているものでも子どもには危険な場合があります。例えばプチトマトは良く聞きますが、パンやクッキー、ミートボールなどでも事故があったようです。改めてどんなものが危険なのか…教えていただきました。

ぜひ ご家族の皆さんでご確認ください。

小児科学会の

窒息を起こしやすい食品 3パターン



ブドウやプチトマトは4歳以下は1/4に切って

アメやラムネは4歳になってから

豆は6歳になってから

エビや貝は2歳になってから